

Take Free

ご自由にお持ちください



新型コロナウイルス  
感染防止  
キャンペーン

memento aomori

# めめんと青森

青森で生きて死ぬことを想う

特集  
生死をあずかる



平安閣 CASITA

No.3  
2021  
April



死は、前よりしも来らず。かねて後に迫れり。人皆死ある事を知りて、  
待つことしかも急ならざるに、覚えずして来る。(徒然草 第155段)

死はタブーではありません。自然に組み込まれたシステムです。  
恐れや不安があるのは、当たり前かもしれませんが、恐れるのは、自然  
に死んでいくということを知らないからなのかもしれません。

これからは自分なりの死生観、価値観が大事になってきます。そして、  
その多様性を認めながら、話し合うことです。死を社会化し、死を見つ  
める根底には、「人間好きである」という本質があると思います。

よりよく「生きる・居きる・活きる・逝ききる」を考える。そのために、  
人とのつながり、そして、キュア・ケアを紡ぐ人とみんなで一緒に考え  
行動し、関わった人すべて、その先の人の「人生が変わった」と言える  
ようになればと願っています。

めめんと青森No.3発刊いたします。

みなさまの青森での暮らしの糧やヒントに  
少しでもなれば幸いです。

株式会社リンクモア  
代表取締役社長

ふなはし もとゆき  
船橋 素幸



〔 特集 | Feature 〕

# 生死を あずかる

## ZOOM 座談会：看取りの医療現場から

近年、注目されている緩和ケア。医師で作家でもある南木佳士「山中静夫氏の尊厳死」や最近では長尾和宏「痛くない死に方」が映画化されたばかり。患者の死は医療者にとつて敗北ではない。死を見つめ、自然で穏やかな死を迎えられるよう取り組む青森の緩和ケアの医療現場で働く医師、看護師にお集まりいただきお話をお伺いしました。



こえだ じゅんいち

**小枝 淳一**

青森敬仁会病院内科医、緩和ケア医、  
生協さくら病院で精神科研修中。

2018年からヨガの道に入る。どんな人も現世を楽しむために生まれてきたことを信じている。



はしかわ まさとし

**橋川 正利**

青森在宅緩和ケア懇話会代表  
芙蓉会村上病院 内科医

青森市内で在宅医療を中心として、  
地域医療に従事している。



くどう

**工藤 うみ**

弘前医療福祉大学保健学部准教授

看護師。医学博士。研究テーマは看  
取り。趣味は読書。好きな作家は原田  
マハ。尊敬する人は池田晶子。



ふなはし もとゆき

**船橋 素幸**

株式会社リンクモア代表取締役社長

厚生労働省認定 葬祭ディレクター  
技能審査 1級葬祭ディレクター

**小枝** 私が佐久総合病院の研修医だった時の指導医が作家でもある南木佳士先生だった。先生と一緒に酒を飲むと決まって「最初の2年間についた指導医でその研修

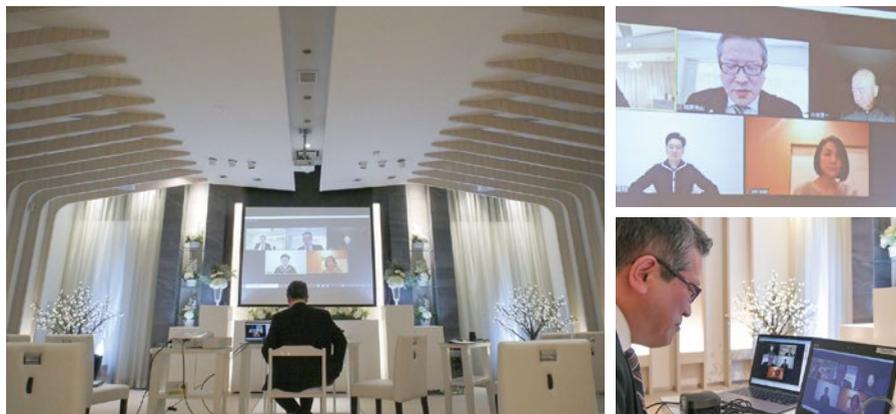
医の将来が決まるらしいぞ」と笑いながら話していた。その後の自分の進んだ道を考えると、やはり相当影響があったのかなと思う。「山中静夫氏の尊厳死」では、医者も患

者も尊厳死というものを本当には理解し得ないのではないかと、こころの引っ掛かりを小説にしている。私自身最初は、消化器内科で診断から看取りまでやろうと思った。しかし進行がんで治療ができなくなった人とお話していると急患で呼ばれてしまうことがしょっちゅうだった。内視鏡やがん治療は優秀な医師がやってくれるので、自分はまだもやっていないホスピスの道に進んだ。

**工藤** 看護の現場でも看取りに関わろうとするのは少数派です。私自身はターミナルケア\*1をやりたいと思いましたが、なんでそんな大変なところに行くの?と珍しがられました。本人は大真面目で、逆にそれをやらないと後悔するなという気持ちでした。医療現場には死を忌み嫌う、死は敗北であるという考え方がまだあるが、死にゆくプロセ

スを理解することによって、最初は怖かったり、避けたいものである死が、そんなに怖がらなくてもいいものとして感じられるようになる。自然死をみつめていると、死に対するネガティブな感情がだんだん薄れていく、そういう現場の状況が実際にあります。

**橋川** 形成外科をやめて内科として青森で働こうとした時に在宅医療を仕事として割り当てられ、そこから在宅を勉強して緩和ケアへの理解を深めていきました。病院で亡くなる人を診て看護師も医師も死ぬのがわかっているけど、頑張らせたい、長生きさせたいという思いがあり最後の最後までバタバタしている傾向がある。家、施設だと介護の方も家族も落ち着いて見られる時間も長い。死んでいく人が、次第に静かな状態になり家族も周りもそれに連なって落ち着く



平安閣CASITA光にてzoom座談会の様子

ことができる。死にゆく人の環境を、特に医療が邪魔しないようにということを、日々気をつけて診療しています。

## 生死をあずかる

**小枝** 自然に死んでいく人をじっと見つめていると、人はちゃんと死ぬということがわかってくる。自分の体の始末をして、死ぬ時も決めて、長い間世話になった体から離れて逝く。急性期病院ではこの死の営みを、ベッドに縛り付けて延命治療を施して台無しにしていることが多い。人が自然に死んでいく過程を知らない医師が生死をあずかるという言葉を使うのはおかしい。

**船橋** 父親が開業医だった。自分は血を見るのが苦手な医師の道は進まなかったが、逆に死から生を見つめることができた。若い頃は東京で結婚式の仕事をやっていた。それが、青森に戻って叔父が経営する葬儀の仕事を手伝うことになった。結婚式とは真逆の仕事で、最初はなんのために葬式やるのか壁にぶち当たった。そんな時に終末期医療の改善やホスピス運動の発展などに尽くしたアルフォンス・デーケン\*2さんの講演が青森であった。「君みたいな、葬儀屋さんが私の話を聞かなければならないんだ。」と言ってくれたことが、葬儀の仕事の

意味を考える上で大きな励みとなった。生と死は表裏一体であり医者と葬儀の仕事は表裏一体。安心して逝ける社会を作る必要があると思った。映画「痛くない死に方」では看取りの場面に家族がいた。今は、地域社会の結びつきが薄れて家族もいない人も多い。家族での看取りもできない。看取りの地域ぐるみの取り組みが求められている。

**小枝** デーケン先生が葬儀屋にこそ話を聞いて欲しいと言ったのには、グリーフケアのことがあると思う。ホスピスでは遺族会とかがあがるが、実際は悲嘆が強過ぎて、そこに来られない人も多い。葬儀、法事などの場で遺された人たちを癒やすのは葬儀屋の大切な役割ではないかと思う。

**工藤** 特養施設では、多くが自然死を尊重する看取りをしますが、遺族がやはり入院させてもっと延命させたほうがよかったとか遺族の心が揺れる時もある。施設で亡くなった方を、私たちはまず遺体をふくなどのエンゼルケア\*3をする。これは第一段階のグリーフケアですが、家に帰ってきて納棺するタイミングで葬儀屋さんが「とても綺麗なお遺体ですね。」と声がけてくれた瞬間に、後悔やら罪悪感が晴れて、これでよかったと思ったというお話を遺族の方にしてい

ただいたことがある。そういう目の前の御遺体への眼差しが、遺族を救うことがある。葬儀社の仕事と同じ死を見つめるものとして共感したことがありました。

## 命の閉じ方のシステム 宇宙の摂理

**小枝** この「めめんと青森」のメメントモリ、日々死を思う医療の現場にいと体が借り物で、死によって魂が身体から解放されるということを実感することがある。

**工藤** 生まれるのも死ぬのも自分の意思ではどうにもならないものです。ですので、その人らしく死を迎えとか ACP\*4とは異なる視点で看取りをとらえています。死はその人らしさをなくしていく、個をなくしていくプロセス。赤ちゃんの顔が同じように見えるのと同じで、亡くなる時の顔も皆似ていて、生まれてくる瞬間に戻っていく感覚があります。人間の体から個という魂が離れていくような、そんな命の閉じ方のシステムがある。それは宇宙の摂理と言えるかもしれない。それを尊重して見つめていく、

それが看取りなのかなと思います。

**橋川** 亡くなる過程が似てくるというのはその通りだと思う。いろんなものを捨てていく。食べていても体重が増えなくなる。認知症の方はいろんなものを忘れていくが、家族はいつまでも覚えていてと願う。施設で穏やかに暮らしている方にとって、家族を忘れることで今の幸せを掴んでいるのではと思うことがある。ACPは、死に行く人にとってはもしかしたら茶番に見えるかもと感じる。

**船橋** 映画「痛くない死に方」中で、先輩医師役の奥田瑛二さんが、在宅医に必要なことはなんだと問いかけるシーンがあった。患者を愛しているかどうか。そのために、医学的なことだけではなく、患者の家族の背景や、人生の物語が大切だという。先生方のお話をお伺いして、人間が好きかどうか、死へのプロセスを見つめ、死んでもなお、見つめ続け、人の死を尊厳を持って捉えることが出来るかどうか。お忙しい中、とても大切なお話をいただき、ありがとうございました。

\*注1 ターミナルケア 終末期医療

\*注2 アルフォンス・デーケン イエズス会司祭、哲学者。上智大学名誉教授。専門は死生学。

\*注3 エンゼルケア 遺体の死後処置と死化粧など

\*注4 ACP(アドバンスケアプランニング) 将来のケア(治療・療養)について、患者・家族と医療従事者が事前に話し合うプロセス。人生会議。

# Topics from Heiankaku

## ねぶた棺

ずいぶんカラフルなお棺だと思  
うかもしれません。

2019年度ねぶた大賞となった『紀朝  
雄の一首千方を誅す』（青森菱友会）  
を絵師の竹浪比呂央氏監修の下で、  
お棺にあつらえたリンクモアオリジ  
ナルです。

最近では、元気なうちに自分用の  
お棺を求められベンチや棚などのイ  
ンテリアとしたり、中で瞑想するの  
にお使いの方もおいです。生前に棺桶

に入ると長生きできるというジンクス  
もあるようですが、棺に入るという  
体験が、自分の死生観を考える大き  
な契機になるようです。

ねぶたは七夕の灯籠流しが起源  
とも言われる火祭りです。灯りととも  
に、死者の魂を弔って送る行事です  
から、ねぶた棺で送られ茶毘にふされ  
るというも、ねぶたに一度は魅了され  
た人に相応しい人生のファイナルア  
ンサーの一つではないでしょうか。



青 字 真 vol.3



# 栄養ドリンク

人生初のケガは脱臼だったと記憶している。4歳。雪遊びの後で、上着を脱いだら肩ごとはずれた。母は青ざめ、私は狂ったように泣きわめいた。父の車で病院へ向かう私に、母が慌てて握らせたのは栄養ドリンクの瓶。冷蔵庫から盗んでは見つかり「子供はダメ」と叱られた憧れの逸品だった。ぬいぐるみとか菓子とか、もっとそれらしい選択肢があるだろうに、あの一瞬で迷わず栄養ドリンクを掴んだ母、握りしめて泣きやむ娘。飲めるのは大人だけ、もう泣くわけにはいかない。

痛みは忘れてしまったのに、握りしめられた力の強さは今もふと思い出す。

親の愛は見えないというが、どうかしら。少なくとも私には、くっきりとワシのマークがついている。

さいとう じゅんこ

齋藤 純子

Writer/Photographer

青森市在住。

シドニーのフォトスタジオ、青森県内の制作事務所等を経てフリーランス。青森と東北を中心に、全国、青森県内向け媒体の取材・制作に携わる。「カッコトジ」代表

# 青森のひと

vol. 03



くろだ ごう

**黒田 剛**

青森山田高校サッカー部監督

青森山田中学校副校長

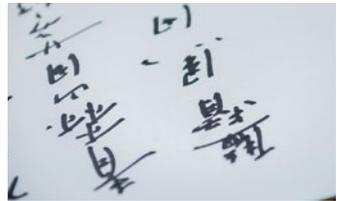
1994年、当時24歳の黒田剛さんは青森山田高校サッカー監督として青森に赴任した。その前の年にJリーグが開幕したばかり。雪深い青森で日本一のサッカーチームが生まれるなど誰も想像できない時代である。

「正直、全国優勝なんて全然頭がない。グラウンドはドロドロ。片方はラグビー場だから砂地でまだラグビーポールも立っていた。全国出場がいつ出来るだろうと

思っていた。」

今でこそ中学、高校と合わせて330人ほどのサッカー部員をかかえ常勝チームを育てたが、最初は高校新人チーム18人から。全国各地に自分でバスを運転してチームを強化してやろうと。なんの根拠もなく、ただ、いろんな人たちと交流して教えてもらいながら、そんなスタートだった。何が何だか分からないまま出場した全国選手権。初戦0-4で負けた。

「その翌年は、県準決勝で負けて、その直後に結婚したんです。唯一県大会で負けた年に寂しい結婚式でした。監督1年目、付き合い始めたのは、初めて県大会決勝戦を勝って、その次の日から。その後全国大会への連続出場の回数と結婚の周年が一緒。結婚記念の周年を忘れないためには負けるわけには行かないんです。」奥様は五所川原出身。黒田監督は青森での人生がそのまま、



2021年3月7日平安閣アネックスでの講演風景



サッカー部の戦歴に刻まれているのだ。

「全国選手権でも10年のうち9年は3回戦負け。その壁を乗り越えてほんとに強くなったと言えるのはこの6年ぐらい、考えられないぐらいの勝率。」教え子たちが戻ってきて中学校の監督や、高校のコーチに就任。これまで全部自分でやっていたのが、中学校、高校を通じてサッカー部が一つの組織として機能

するようになり強さにつながった。そこには勝負師としての知性、感性とともに、教育者としてサッカー部の子供たちを長年に渡り丹念に育ててきた積み重ねがあった。

「やんちゃなチームというのは、経験や挫折でいろんなことを悟るのです。言うことを聞かないことも聞くことも、いろんな奴に悪戯することも、悪いことを含めて全部パワー。それら

を一つのベクトルに束ねるのです。大人しくて何もしない、やる気があるのかもしれないのかも分からない。教室で静かにしているから優等生に見えるけど、サッカーの競技場ではなんのプラスにもならない。まあ、やんちゃな方が説教する回数は多いけどね。」そう語る監督の笑顔がやんちゃ少年に戻ったように見えたのは気のせいか。

---

黒田剛 1970年、札幌生まれ。青森山田高校サッカー部監督として全国高校サッカー選手権大会にて2016年、18年には優勝、19年、20年には準優勝へ導いた。これまで52人を青森からJリーガーへと育てている。

# 葬儀図鑑

ARCHIVE 03

KUJIRA-MAKU

BLACK AND WHITE STRIPED CURTAIN

## 鯨幕

Kujira-maku

白布と黒布を縫い合わせ縦縞にして縁に黒い布を付けた白黒の縦縞模様の幕。鯨の背中が黒く腹が白いことや、黒い皮と白い脂肪の縞模様から鯨幕と呼ばれています。一昔前はお葬式といえばこの鯨幕の景色が一般的でした。家の外や部屋に張って、会場を仕切ったり、家の中の見せたくないところを隠すのに役立ちました。



鯨幕は、古くから神事などに用いられたようです。東本願寺宮御殿の襖絵には子日宴という初春に若芽摘みを行う宮中行事に鯨幕が見られます。黒は高貴な色とされ、江戸時代までは、結婚式などの慶事でも使われていました。意外に思われるかもしれませんが、現在でも皇室の催事、歴史や格式を重んじる慶事では鯨幕が使われています。明治時代に入ると西洋文化にならい、「黒」を弔事の色と定めます。鯨幕が「葬式用」に一般化したのは、大正、昭和にかけてと言われていますから、鯨幕が葬儀のイメージになった歴史は古くないのです。

そんな鯨幕ですが、最近では見かけることが少なくなりました。ご自宅ではなく、専用の式場で葬儀をあげる方が多くなるにつれて、鯨幕の出番も減ったようです。



「子日遊図」東本願寺宮御殿

株式会社 **リンクモア** × GOMA

## GOMAアートプロジェクト 再生の扉 開けGOMA

常設展示

観覧無料

**時間** 午前11時～15時

**場所** 平安閣CASITA光(勝田)  
青森市勝田2-18-4



都合によりご覧になれない場合があります。  
あらかじめ、下記よりご確認いただければ幸いです  
リンクモア 電話 017-735-1407

## 人形供養祭 + 家族葬の相談会

**日付** 5月30日(日)

**時間** 午前9時から午前11時30分

(9時～11時まで 人形お預かり  
11時～11時半 供養式 オンライン中継あり)  
\*当日事前相談も承ります

**供養料** 会 員：無料(要会員登録提示)

非会員：1体500円、  
10体以上5,000円  
上限20体まで

**場所** 平安閣アネックス(堤町2-4-1)



LINEスタンプ

# ナム★ほつとちゃん

登場!

こんな言葉も仏教に由来していた!?  
ころよすらぐ伝心スタンプです。

スタンプショップ内にて **ナムほつとちゃん** 検索

<https://store.line.me/stickershop/product/13289866>



2021年度  
4月～9月

# 家族葬の相談会

無料

違いがわかる相談会。  
お客さまの声は平安閣の誇りです。

会場 平安閣アネックス(堤町)／平安閣CASITA光(勝田)

時間 午前10時～午後1時

4 月 火 水 木 金 土 日

卯			1	2	3	4
月	5	6	7	8	9	10 11
	12 13	14 15	16	17	18	
	19 20	21 22	23	24	25	
	26 27	28	29	30		

5 月 火 水 木 金 土 日

卑					1	2
月	3	4	5	6	7	8 9
	10	11	12 13	14 15	16	
	17 18	19 20	21	22	23	
	24	25	26 27	28	29	30

6 月 火 水 木 金 土 日

水		1	2	3	4	5 6
無	7	8	9	10 11	12	13
月	14 15	16 17	18	19	20	
	21 22	23 24	25	26	27	
	28 29	30				

7 月 火 水 木 金 土 日

文			1	2	3	4
月	5	6	7	8	9	10 11
	12	13	14 15	16 17	18	
	19 20	21 22	23	24	25	
	26 27	28 29	30	31		

8 月 火 水 木 金 土 日

葉						1
月	2	3	4	5	6	7 8
	9	10 11	12 13	14	15	
	16 17	18 19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28 29

9 月 火 水 木 金 土 日

長			1	2	3	4 5
月	6	7	8	9	10 11	12
	13	14 15	16 17	18	19	
	20 21	22 23	24	25	26	
	27 28	29 30				

## お客様からの声

事前にリンクモアの「相談会」に行きました。資料もわかりやすく良かったです。担当者はとても誠実に対応して下さり、またいろいろなお事もお願いしやすく良かったです。平安閣カサータに決めて本当に良かったと思います。会計もとてもきちんとしていて安心できました。



## 終活カフェ

市役所や図書館、街でお買い物のついでに  
お茶でよろず無料相談

日付 4月26日(月) 5月17日(月) 8月25日(水) 8月26日(木)  
9月29日(水) 9月30日(木)

会場 青森市役所1階 駅前スクエア(アウガ)

時間 午前10時～午後3時



家族葬、一日葬などの  
葬儀の質問に  
お答えいたします。



### シトラスリボン作り 無料体験コーナー

みんなでシトラスリボンをつくってコロナによる偏見や差別をなくし、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動の輪を広げます。  
(小物やお菓子:アヴニールさんの販売あり)

### シトラスリボンプロジェクトとは

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクト。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて気持ちを表す活動。

詳しくはこちら→<https://citrus-ribbon.com/>



# めめんと青森

NO.3

2021年4月1日発行

発行：株式会社リンクモア  
〒030-0822 青森市中央1-27-10

編集：teco LLC.

本誌からの写真、文、イラストの  
無断転載を禁じます。

## ご葬儀に関するお問い合わせ

TEL 017-735-1407 24時間受付 年中無休

株式会社 **リンクモア**

〒030-0822 青森市中央1-27-10  
<https://www.e-gojokai.com/>



平安閣CASITA	〒030-0812 青森市堤町2-4-2
平安閣CASITA光	〒030-0821 青森市勝田2-18-4
平安閣CASITA雫	〒030-0944 青森市筒井八ッ橋39-5
平安閣アネックス	〒030-0812 青森市堤町2-4-1
平安閣本館	〒030-0812 青森市堤町2-4-16

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

リンクモアは持続可能な開発  
目標SDGsを支援します。